

## 現状・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル技術の活用により、消費行動は通販での購入が大きく伸びるなど、社会経済は大きく変化。
- ・一方、県内におけるデジタル技術の活用はまだ未だであり、経験と勘に頼った事業活動が多く店舗でなされている。
- ・県内の小売店・商店街において変化する社会経済活動にしっかり対応していかなければ、高知のファーストゲイトとしての機能が低下していくことが懸念される。

## デジタルデータ活用による商店街等活性化検討会 (R4.9~)

- ・通行量調査のデジタル化のあり方(収集データの種類・仕様など)を検討
- ・高知工科大学(新学群関係者)や県内外の企業関係者の協力のもと、産学官民連携による地方商店街活性化モデルの確立を目指す。

## 取組の方向性

- ・デジタル技術を活用した個別店舗の顧客満足度の向上を地域一帯で行うことによる中心市街地の活性化(来街者(県外含む)とリピーターの増)
- ・デジタル技術とデータを活用する事業者の集積を図り、県内事業者によるデータ活用の先行モデルとしていくことで本県のデジタル化を加速
- ・取組を通じて得られた知見の他地域(県内の商圈・店舗)への横展開や人流データの他分野での活用(交通・観光・行政)

※DXを見据えたデータ活用は、全国的には比較的規模の大きな企業が進められる中、規模の小さな事業者が集団で取り組む＝高知らしいデジタル化と位置づけ進めていく。加えて、工科大新学群との連携の先行事例としても取り組んでいく

## R5の取組内容

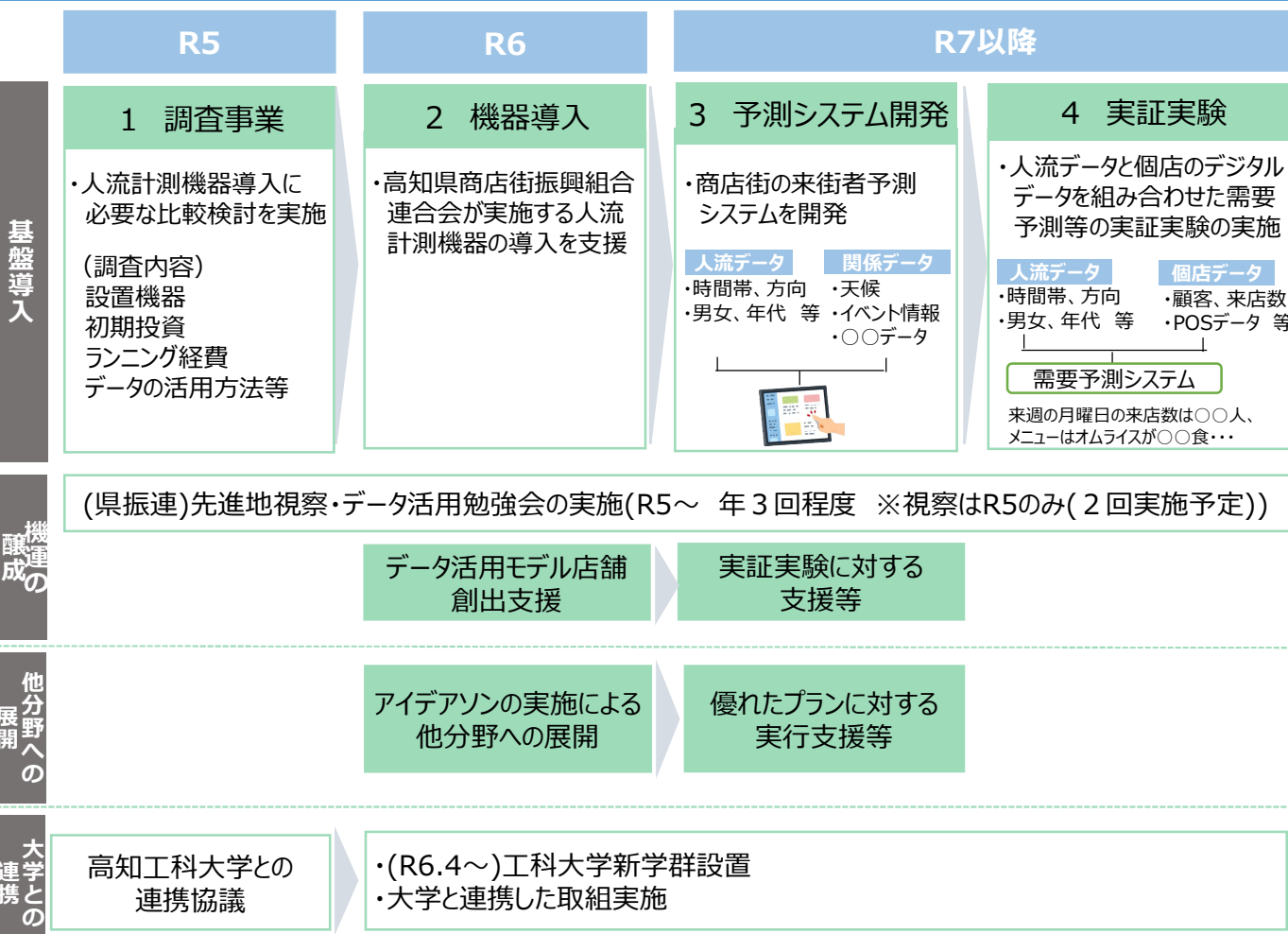
### ○人流計測デジタル化調査委託料 9,350千円

(目的) 人流計測機器のコスト面やメリット等の検証及び各商店街の実情に合った効率的な人流計測機器の導入に繋げるため、導入にあたって必要な調査を実施する

(委託内容)

- 1 初期導入経費、ランニングコスト、設置箇所、台数(複数の機器を比較検討)
- 2 期待される効果と活用事例(活用イメージ)
  - ・商店街全体の来街者を増加させるための方策
  - ・個店の収益増加策(売上増、コスト削減等)
- 3 県内他地域の商店街・個店や観光・公共交通など他分野への展開方策、展開イメージ(仮説)
- 4 他県における先行事例の収集

## 取組内容



## 目指す姿

○デジタルデータを活用し商店街活性化を図るとともに、他地域・他分野へ横展開することで、県経済の活性化へと繋げる。

